

## 市長就任から5か月を迎えて

小山市長 浅野 正富

### 01 はじめに

本年7月5日に皆様のご支援を得て小山市長選挙で当選させて頂き、7月31日に小山市長として初登庁させて頂いてから間もなく5か月を迎えています。

この間コロナ禍もあって後援会の皆様にはきちんとご挨拶する機会も持たず、大変失礼致しました。ようやくこの後援会だよりの紙面上で市長に就任した私の近況を皆様にお知らせすることができますが、この間のご無沙汰については何卒ご容赦下さい。

当選後まもなく前市長から「ライフワークにしているものがある」との電話があったことが下野新聞で報じられ、前市長が市長以外のいくつかの重要な役職にとどまるのではないかと懸念されましたが、最終的には杞憂に終わり無事初登庁を迎えられました。



後援会長とならんでの初登庁

### 02 就任後初議会で固めた 副市長、教育長人事

就任直後から職員に膨大な量の事務引き継ぎを受けながら、挨拶回りや挨拶に来てくれる方との面会、マスコミからの取材対応が続く中、最初の重要案件として取り組んだことは、9月3日から9月30日までの9月議会開会中に議会の同意を取り付けて副市長や教育長を選任することでした。私と認識を共にしてくれる副市長と教育長が揃わなければとても市政を回していくことはできません。様々な関係者からアドバイスを受けて人選し、就任時に空席だった副市長には9月3日の議会初日に議会からの同意を得て元総合政策部長だった雲井富雄氏に就任してもらいました。前教育長は9月30日付で退任されることになったので、9月30日の議会最終日に議会の同意を得て10月1日付で元小山中学校校長の濱口隆晴氏に新教育長に就任してもらいました。

新三役が揃わない中で9月議会に向けての準備をしつつ、人事にも対応していくことは正に孤軍奮闘と言っても過

言ではなく無我夢中でこなしました。ようやく新三役が揃った10月からは、早くも来年度予算編成に向けた準備が始まり、コンサルの筆致があまりに強い総合計画の素案に手を入れたり、職員採用試験にも対応したりと忙しさが増すことはあっても減ることはありません。就任からしばらく経っても毎日のように新市長に会いたいと挨拶に来られる方々への対応が続く、その間にびっしりと会議や打合せ、外出の予定が入り、やっと自席に戻ると決裁文書や電子決裁が数十件待っているという日々が続きました。

### 03 内部に入って初めて分かった 小山市政のひどい現状

就任直後の事務引き継ぎの時から、今まで知らなかった小山市政の実情を次から次へと知ることになりました。既に報道されましたが、小中学校の校舎、体育館などで雨漏り、水漏れ等の補修を要する箇所は77か所にも及んでいたり、市の管理する公園が約330か所ありますが、予算不足のため安い価額で業務委託しようとして入札が不調になってしまい、約190か所の公園を職員自ら除草することで残りの公園のための業務委託料を確保し、やっと応札してもらえたことが分かりました。

駅前のロブレを運営している第3セクターの小山都市開発に対して小山市は11億円を貸し付けていますが、核店舗のイズミヤ撤退後テナント確保に苦しんで経営不振が続く



初登庁式での訓示

03 内部に入って初めて分かった小山市政のひどい現状

同社の経営を軌道に乗せて貸金の回収を図っていくため小山市は同社やテナントに助成を行い、ここ数年その額が2億円前後で推移しているという状況も明らかになりました。前市長のもとで続けられてきた里親による思川桜の植樹も現在2000本を越えましたが、その維持管理に年間2000万円の予算が投じられ、10年間かけて3000本にするための植樹地の整備に3億円もの金額が見積もられていました。

小山市内の市道では、劣化した舗装の補修が遅れてそこかしこに穴があき、タイヤがパンクしたりホイールを破損することが頻発し、今年8月～10月で小山市と被害者が示談した件数は19件にも上ってしまい、道路補修が待ったなしの状態になっています。

博物館の収蔵庫は満杯で新しく収蔵するには何かを捨てなければならず、中央図書館は雨漏りしていても予算不足で応急修理しかできない、文化センターは耐震不足で20億円の補修費がかかるがコンクリートが中性化し始めていつまで寿命が持つかわからない等々ありとあらゆるところで問題が噴出しています。



04 財政難の中でも  
小山市の正常化をめざして



初登庁日に後援会長はじめ支援者のみなさんと



意気込みを語る浅野新市長

選挙の際に訴えたように、小山市の財政調整基金(大災害が起きたような場合に備える貯金)は、12月議会前には10億6700万円、市民1人当たり換算で宇都宮市の約5分の1の約6400円しかありませんでした。平成30年度には県内14市の最下位、令和元年度で12位です。将来負担の大きさを示す将来負担比率は平成30年度には、栃木県の市町平均18.0%、全国平均28.9%に対して68.1%で県内25市町の最下位となっています。

県内でも小山市の財政力指数は高いのですから本来豊かな財政でなければならない筈ですが、行政ニーズに満足にできていないにもかかわらず財政危機を迎えてしまっていることはとても信じられないことです。一体何にお金を使ってきたのでしょうか。

「何かがおかしかった」小山市政を早急に正常化しなければなりません。コロナ禍で令和元年度の決算に比べ来年度の市税収入は28億円も落ち込む見通しですが、そのような中でも小山市を正常化して行かなければ、持続可能なまちにすることはできません。そして、小山市の正常化は誰でも

ない、小山市民にしかできないことで、私たちがこのまちを変えていくのです。選挙で私が掲げた4つの公約、「速やかな財政再建」、「市民が求める政策の実現」、「『田園環境都市・小山』のまちづくり」、「徹底した市民との対話と連携」は、市民が小山を変えていくための公約であり、私が市長として市民の先頭に立つために、私は皆様から4年間の任期を負託されました。皆様、知恵を絞り、汗をかいて、一緒にこの小山を変えていきましょう。

未来の子供たちが安心して暮らせる持続可能なまち小山に。



# 浅野市長 誕生までの経緯

後援会長 楠 通 昭

5月20日の夕方、渡良瀬遊水地で一緒に保全活動を行っている「ラムサール湿地ネットわたらせ」の事務局長の浅野さんから電話が入り「私、小山市長選挙に立候補します」と。何、何？

7月5日の選挙に！選挙準備に2年は必要と云われていることを1.5ヶ月で！約20年来の仲間だが2人は全く選挙に関係した経験のない素人。その自分が後援会会長として市長選挙に関わることになったのです。そもその発端は昨年12月中旬に今年4月から小山市のボランティア活動の拠点施設「おやまー」の施設運営を行う指定管理者の不正選定問題が発覚したことでした。これに対抗して有志利用団体で「小山市長に指定撤回を求める全国2万人署名を呼びかける会」(有志代表：楠、事務局長：浅野)を設立し2月の1ヶ月間、JR小山駅の街頭署名活動を中心に全国版署名活動を展開し署名7,845名(小山市民約1,500名)を集め市長に提出したが話し合いに出席せず市との関係者は従来通り「選定に誤りなし」を繰り返したので市長宛に「あなたは市長の任にあらず！」の声明文を提出し、住民訴訟の準備に取りかかった。



街頭演説に臨む浅野候補

それと並行して7月に実施される市長選挙に4月早々に現市長が6選目の立候補を表明していたため浅野さんと2、3名の関係者が署名活動中から次期市長候補を模索していた。しかし本命とみられていた候補者が3ヶ月間熟慮の末、5月中旬に辞退した。市長選挙まで残り1.5カ月!

## 市民の声が 市役所や市長に届かない

ただその活動の中で市政の実情が段々判ってきた。市議会に正確な情報を伝えようとしない市長の議会軽視、市民の声が市役所や市長に届かないこと、市長に付度した公正公平といえない適正手続きを逸脱した数々の事例そして公衆面前でのパワハラまがいの職員に対する叱責・罵倒の態度など多くの問題が判明した。これは政策以前の政治姿勢、政治手法が問題だったのです。浅野さんは、現市長の6選か？許せば現市長のやり方では小山市政がおかしくなる!最後は候補者を選んでいた自分しかないか?よしと決心!こうして小山市に対する将来への危機感と浅野さんの責任感から5月18日に立候補を決意し、20日に関係者に連絡し、その出馬が5月23日の下野新聞で報道された。

後援会の事務所開きは6月7日(日)、門出を祝うかのよう遊水地のコウノトリ2羽が孵化したとのニュースが舞い込んできた。事務所は常勤13名、非常勤4名の陣容でスタートし総括事務局長にはベテラン市議、候補者スケジュール、遊説隊には県議1名、市議1人ほか3名、はがき・電話・名簿、広報物、ポスティング、会計などには参議院応援秘書ほか6名、受付・来賓対応4名で、そのほかポスター・看板掲示、ポスティングなど主に屋外作業の選対員25名の計42名でスタート。

浅野さんは弁護士ではあるが支持母体は特定政党の推薦は求めず昨年12月の「おやまー」指定管理者不正問題の署名活動を支援した市民団体と県議1人、市議2名を母体とした無所属。

現市長は6選目、抜群の知名度と過去の実績と支持母体が自民党と公明党の推薦を得て無所属で国会議員佐藤勉衆議院議員を筆頭に県議4名、市議22名の盤石な体制。ただ6選目で内輪の支持基盤が必ずしも一体でない。キーポイントは前回の35%の投票率を、どれだけ上載せられるか、特に若者達の参加を掘り起こせるかであった。象とアリの戦いになるのではとの予測もあったが多選問題、知名度浸透、市民団体の草の根の運動と投票率でどれだけ追いつけられるか?接戦を期待した。

## 新人浅野氏が猛追、そして

事務所が開いてから2週間くらいの前半戦では市民の関心の低さを心配し、前半の終盤の両候補予定者の討論会ではポイントを稼ぎ、中盤の選挙告示1週間前になると各陣営の動きが伝わってくる。多選批判と知名度の上昇で、ずいぶん追いついてきたよ!と。告示前3日位から急に事務所周りや候補予定者の近所の人、団体会員の友人・知人、同窓生の人また若い仲間を中心にSNSやYoutubeを活用した独自の活動を始めた人々などが続々事務所に集まり出入りが急に多くなった。活動員が150名を超えたようだ。これが市民運動特有の点と線のネットワークが面に広がったということか?来客も以前とは変わってきた。市内大手会社の工場長と組合委員長、相手陣営参謀の関係会社社長などの訪問。選挙通の事務局長は、ニコニコしながら「当方の善戦の表れですよ」と。日に日に選対の活動員が増え200名を越え事務所がごった返し熱を帯びてきた。投票日前日の4日になると街頭パレードでの市民の反応、駅前広場での街頭演説会での浅野さんと現市長に対する参加者の熱の入れように大きな差が出た。相手は「動員した」が見え見えの守りの態勢だ。

7月2日の下野新聞の終盤の予想では「現職有利だが、新人浅野氏が猛追」との報道があった。我々の実感では、この2日後には追いつき横一線で、追うものの強みで逆転もと予想・期待していた。

開票速報は、一時は針の筵の上に座っている厳しい状況だったが集計員の変則配置で大差の大逆転劇となった。その分、嬉しさと感激が皆の万歳に現われていた。

## 4つのシセイ(市政、姿勢)改革

浅野新市長には、お祝いと共に4つのシセイ(市政、姿勢)改革 ①速やかな財政再建 ②市民が求める政策の実現 ③徹底した市民との対話と連携 ④「環境田園都市・小山」のまちづくりで新しい小山を実現していただきたく、また、ご協力いただいた後援会の皆さんには厚く御礼申し上げますと共に今後ともご支援いただけますよう、お願いします。



当確の報を受け歓喜に沸く選挙事務所

おやま〜る

## 小山市まちなか交流センター 「おやま〜る」の管理運営正常化の要望書提出

小山市長に指定撤回を求める全国2万人署名を呼びかける会 呼びかけ人代表 楠 通 昭

今回の浅野新市長選挙誕生の発端となった「おやま〜る」指定管理者の不正指定問題で、この不正指定の核心部分を記述していると思われる「令和元年第1回公の施設指定管理者選定委員会議事概要」について当会のメンバーである平野正美氏が4月22日再情報公開請求を行っていた非公開とされていた部分（9行）が9月8日非公開処分を取り消す採決書が発行されました。

その内容は我々が主張していたとおり、ゆめ評定（現指定管理者）と選定委員会のやりとりは業務仕様書違反の提案すなわち休館日を増やし、閉館時間を1時間繰り上げ23%も利用時間を削減する内容でした。つま

り、選定委員会は業務仕様書に違反した運営方針を表明したゆめ評定を次期指定管理者に選定したことになり、この選定には業務仕様書違反の明白かつ重大な瑕疵があったことが明白になりました。そのため浅野市長に対し10月26日に小山市まちなか交流センター「おやま〜る」管理運営正常化に関する下記内容の要望書を提出し、その後記者会見を開催し説明会を行いました。

『すでに不正指定した大久保前市長、不正選定をした選定委員会の委員長である加藤前副市長は退任されていますが、小山市まちなか交流センター「おやま〜る」の指定管理者はゆめ評定のままです。市政が刷新され

たにもかかわらず、業務仕様書違反の管理方針を堂々と選定委員会で表明したゆめ評定について、何らその当否につき再検討を加えることなく漫然と指定管理者のままでいることが許されて良い筈はありません。ゆめ評定が指摘した指定管理料の金額の多寡と指定管理者公募などの適否まで遡って再検討の上、小山市まちなか交流センターの管理運営を一日も早く正常化して真に市民のためになる小山市まちなか交流センターになることを要望します』



## 年会費納入・個人献金のお願い

2020年12月現在、後援会に入会された方は約8,000名もいらっしゃいました。今回の後援会だよりはその方たち全員に届くように発送しております。

今後もおさの正富後援会の会員の方々に市長の近況や市政の状況、来年に開催を予定している市政報告会等の催し物についてお知らせしたいと存じます。後援会だよりの送付をご希望される方は、下記口座に2021年度分の年会費1,000円を2021年1月から3月末までの間にお振込み頂きますようお願い申し上げます。

足利銀行 間々田支店 普通預金口座  
口座番号：5503382  
口座名義：あさの正富後援会 代表 浅野正富  
(アサノマサトミコウエンカイ ダイヒョウ アサノマサトミ)

また、あさの正富後援会では、あさの正富の政治活動を支えるために個人献金を募っております。献金頂ける方は、年会費納入と同様に下記口座にお振込み下さい。献金は随時受け付けております。

なお、献金お振込みの際は事前に住所・氏名・領収証希望を、あさの正富後援会事務所（TEL0285-25-6577）までご連絡お願い申し上げます。

お振込み頂く際は、ご依頼人のお名前の前に、封筒の宛名ラベルに記載されている英数字を必ずご入力ください。

入力例：A012345 アサノ マサトミ

### 編集後記

今まで投票する以外に選挙に関わったことのない私としては、初編集で体裁を心配しながら作成しました。創刊号のため今回は浅野市長と後援会長の記事だけになりましたが、次回からはいろいろなニュースや広く皆さん方の所見や意見を交えて、楽しい後援会だよりにしていきたいと思っております。それまでには新型コロナウイルス感染症も終息してほしいものです。いや、しなくてはなりませんね!

(楠)

### 市政報告・意見交換会の開催について

11月下旬から新型コロナウイルス感染症の第三波が到来しております。当面の間大人数での集会の開催が難しい状況です。

2021年に入り第三波がある程度収束した段階で、後援会会員を対象にあさの正富による市政報告・意見交換会を開催する予定です。改めてご案内致しますので奮ってご参加ください。

### あさの正富後援会事務所

〒323-0034 栃木県小山市神鳥谷 1-6-19 TEL.0285-25-6577 FAX.0285-25-6627 <http://www.asano-masatomi.jp/>